

平成 28 年度事業報告書

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

1、事業の成果

高次脳機能障害者と家族に対し、相談会を県下 5 カ所で実施したことに合わせて、今年度はその地域での啓発のための講演会を実施した。家族の生活の改善につながり、癒しや生きる強さを持ってもらえた。また行政や医療機関一般社会へ向けての啓発ができ、相談件数や相談会の参加が多くなってきた。

また高次脳機能障害の就労支援に関して全国の支援者連絡会を広島で実施したことで、広島地域の医療、就労、福祉関係機関の参加があり、今後の連携のきっかけができた。

2、事業内容

特定非営利活動にかかる事業

(1) 高次脳機能障害および家族への支援に関する事業

【相談支援事業】

決算 3,723,786 円

場所・日時	内容
廿日市相談会	地域の拠点病院廿日市記念病院、五日市記念病院の ST、OT、相談員の方の参加が毎回あり、お互いの情報交換にとっても役立っている。 参加人数も増えて、家族同士が学びあう場になっている。
日 時	第 1 木曜日 10:00～12:00
場 所	廿日市総合福祉センターあいプラザ
受 益 者	利用延べ人数 100 名 医療関係者 15 名
広島市中区相談会 (広島市高次脳機能障害支援事業)	専門家と家族体験者がグループ形式で、参加した家族のそれぞれの悩みや対応法を話し合いながら、参加したみんなが解決策を考えている。お互いの勉強になっている。
588,000 円	個別相談：生活支援、交通事故示談、福祉サービス利用について
日 時	毎月第 2 火曜日 生活相談:10:00～12:00 (グループ形式で) 個別相談：14:00～16:00 (予約制) 23 件
場 所	広島市中区地域福祉センター 5 階
受 益 者	利用延べ人数 117 名 個別相談 23 件
呉 相 談 会	参加者がなかなか増えなかったが、今年は定期的に通ってくるご家族も増えてきた。 当事者ワークも実施。当事者 2～3 名
日 時	毎月第 4 木曜日 14:00～16:00

場 所 受 益 者	呉市つばき会館 利用延べ人数 91名 当事者 31名
備後地区相談会	一昨年からみつぎ総合リハ病院のスタッフの皆さんが参加いただくことから、福山リハビリテーションセンターの相談員さんも参加されるようになり、参加者もどんどん増えてきた。福山在住の家族の参加も増えてきた。
日 時	毎月第2金曜日 10:00~12:00
場 所	三原サンシープラザ
受 益 者	利用延べ人数 167名 関係機関の方 57名 当事者 40名
東広島相談会	時間を繰り上げて相談会を実施したが、高次脳機能障害の拠点病院なのに、参加者が他の地域より少ない。
日 時	毎月第3火曜日 13:00~15:00
場 所	広島県立障害者リハビリテーションセンター2階多目的室
受 益 者	参加者延べ人数 90名
従事者	社会福祉士・言語聴覚士・法律家助手・家族体験者・関係機関職員
実施成果	・各地域での相談会の実施で、いろいろなパターンが見え、高次脳機能障害のむつかしさも感じる。みつぎ病院のように医療機関の人が参加していただくことで廿日市記念病院などからも参加いただけるようになった。生活場面でのエピソードを聞いていただくことで、高次脳機能障害の特徴を理解してもらえる機会になっている。

【家族会活動事業】

決算 527,654 円

家族交流会	毎月第2火曜日 中区相談会の後、13時~15時まで 場所：広島市中区地域福祉センター5階	濱田・守下
平成 28 年 4 月	日本脳外傷友の会代表者会議に参加して、厚労省、国土交通省に、出向き話し合う。	
平成 28 年 8 月	茶話会交流会（三原サンシープラザ）	役員他 8 名 濱田 家族会役員 他 30 名
当事者 10 名 家族 20 名	当事者 3 名とコバックさんのマジックショー 家族交流会でいろいろな悩みを語り合う	
平成 28 年 10 月	パイロットウォークに参加。	
平成 28 年 10 月	日本脳外傷友の会運営委員会 日本脳外傷友の会全国大会 in 高知 広島からの参加者は 30 名以上。高知ということでお酒が出ていたため、当事者が酔っぱらっている人も多かった。	

<p>平成 28 年 11 月 27 日 （広島県健康福祉センター） 参加者 150 名</p>	<p>損保助成金リハビリ講習会 「高次脳機能障害からの立ち直りをめざして」 ① 演題：『「見えない障害」を生きる～高次脳機能障害者のリハビリテーションと当事者・家族の役割～」 講師：上田敏さん（日本障害者リハビリテーション協会顧問） ② 演題：「地域生活の自立につながるリハビリテーションを考える」 講師：野々垣睦美さん（クラブハウスステップなな 統括責任者）</p>	<p>濱田・日山 松田・守下</p>
<p>平成 29 年 3 月 4 日 （東区地域福祉センター） 70 名</p>	<p>高次脳機能障害地域支援ネット中国ブロック会議・研修会（広島） 中国地方各県の取り組みについての報告 研修会①演題「交通事故・労災事故後の補償について」 講師：中井克洋さん（メープル法律事務所 弁護士） ②演題「年金診断書の作成に当たって」 講師：畝田谷栄子さん（社会保険労務士）</p>	<p>濱田・日山 松田・赤木 守下</p>

(2) 障害者総合支援法に基づく福祉サービス事業

決算 17,298,822 円

【クラブハウス・シェイキングハンズ】

チャレンジ（就労移行支援事業）

<p>内容</p>	<p>一般就労を目指す人を対象に訓練を行う。 ジョブライフサポーターの方が毎月当事者の面談に来て、職場見学を企画してくださり、その後職場体験を数社実施して、通う職場の距離や、自分に見合った職場を選ぶことで、スムーズに、面接、就労につながった。</p>
<p>事業日程</p>	<p>通年月曜～金曜 10:00～15:00</p>
<p>場所</p>	<p>クラブハウス・シェイキングハンズ</p>
<p>従事者</p>	<p>サービス管理責任者・就労支援員・生活支援員・職業指導員</p>
<p>受益者</p>	<p>12名 新規利用者7名（うちワークより3名）</p>
<p>実施成果</p>	<p>一般就労5名 ワークステージへ移行1名 他の事業所 1名</p>

ワークステージ（就労継続支援 B 型）

<p>内容</p>	<p>仲間と共に自分の障害と向き合い、補う工夫を見つけ、就労に向けての準備をする。プログラムの内容の充実と振り返りの質問や言葉がけなど、スタッフの声掛けより当事者同士、お互いの気づきや声掛けが充実してきた。5～6年のメンバーが作業中心の別の B 型事業所に移行した。</p>
<p>事業日程</p>	<p>通年 月曜日～金曜日 10:00～15:00</p>

場所	クラブハウス・シェイキングハンズ
従事者	生活指導員・職業指導員
受益者	利用者登録 14名 1日当たり9名
実施成果	別の就労継続支援B型へ移行 3名 もっと働くことを目指して 新規利用者 4名（うちチャレンジから1名） メンバー全員の通所日数が増えてきた。

(3) 高次脳機能障害者の一般社会への啓蒙活動に関する事業

決算 935,320 円

H28年6月18日 広島市地区勉強会 (広島市中区地域福祉センター) 参加者 160名	<p>演題「高次脳機能障害者の地域生活」</p> <p>①「高次脳機能障害とその特徴」 講師：岡本隆嗣さん（西広島リハビリテーション病院 院長）</p> <p>②「作業療法士から見た地域生活」 ～横浜市障害者自立支援アシスタント事業から 講師：野々垣睦美さん（クラブハウスステップなな統括所長）</p> <p>③座談会「一人暮らしを続けている息子を離れて見守る親の思い」 岡本隆嗣さん、野々垣睦美さん、内田幸雄さん、むつ子さんご夫妻</p>
H28年10月23日 三原勉強会 (本郷学習センター) 参加者 50名	<p>演題「高次脳機能障害を持って生きる－働きながら暮らすということ－」</p> <p>① ミニレクチャー「高次脳機能障害とは」 講師：本多留美さん（言語聴覚士・NPO 法人高次脳機能障害サポートネットひろしま）</p> <p>② 対談「働きながら暮らすということ」 当事者：大岩登さん 家族：大岩寛子さん 体験者の生活エピソードを専門職の本多先生が解りやすく障害について解説いただき、理解しやすい講演会であった。</p>
H28年11月6日 廿日市地域勉強会 (廿日市記念病院) 参加者：60名	<p>演題「高次脳機能障害を持って生きる－働きながら暮らすということ－」</p> <p>① ミニレクチャー「高次脳機能障害とは」 講師：本多留美さん（言語聴覚士・NPO 法人高次脳機能障害サポートネットひろしま）</p> <p>② 対談「働きながら暮らすということ」 当事者：大岩登さん 家族：大岩寛子さん</p>
H28年12月4日 東広島地域勉強会 (県高次脳センター) 参加者：30名	<p>演題「高次脳機能障害をもって生きる－ひとりで暮らすこと、働くこと－」</p> <p>座談会 「ひとりで暮らすこと、働くこと」 内田さんご夫妻（ご家族）・上谷哲也さん（太田川学園相談事業所）・山田・藤原・本多 一人暮らしの当事者を遠く離れて見守る親の気持ちをお話いただくとともに、地域での支援者との連携を示し、福祉制度やサービスについて学んでいただく機会とした。</p>

H29年1月28日 呉市地域勉強会 (ビューポートくれ) 参加者 40名	演題「高次脳機能障害をもって生きる－ひとりで暮らすこと、働くこと－」 座談会 「ひとりで暮らすこと、働くこと」 内田さんご夫妻 (ご家族)・上谷哲也さん (太田川学園相談事業所)・山田・藤原・本多
H28年10月30日 (廿日市市総合福祉センター多目的ホール) 参加者 60名	就労支援者の集い「高次脳機能障害者の就労に必要なこと」午前の部 全国事業所職員ネットワーク研修会「支援の視点を学ぶ」午後の部 全国の高次脳機能障害者を支援しているの就労移行支援事業所の集まり(就労支援者の集い)と日本脳外傷友の会加盟の施設職員の研修会(全国事業所職員ネットワーク研修会)を午前と午後に分けて広島で実施した。広島地域の医療・福祉施設や職業センターからも多くの参加をいただき、高次脳機能障害者の支援の視点を考えるきっかけになった。
冊子作成	<ul style="list-style-type: none"> ・「高次脳機能障害からの立ち直りをめざして」 700部(損保助成) 190,000円 ・「高次脳機能障害の地域生活」 ～息子が何とか一人暮らしができている理由～ 500部 192,240円 ・「支援の視点を学ぶ」 500部(日本脳外傷友の会) 181,440円 ・振込用紙付きチラシ 3,000部(広島廿日市ロータリークラブ) 213,840円 ・ホームページでの情報発信

(4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

就労支援事業(当事者工賃事業)

決算 757,206円

内容	ベルテガーデン清掃、広島市就労支援センター内職 石鹸作業 清掃作業はグループで実施。 内職作業は仲間とコミュニケーションを取りながら実施。
事業日程	通年月曜日～金曜日 10:00～15:00
従事者	サービス管理責任者・生活指導員・職業指導員
実施成果	作業をグループで実施することで、仲間とのコミュニケーションの訓練になっている。また、一般社会での作業なので、あいさつや作業の配慮の勉強になっている。清掃作業を通してその人の能力を観察できること、時間経過で当事者の変化がわかる。

その他の活動事項

	日時	場所	担当者
施設研修会講師派遣	H28年7月	全国地域リハビリテーションリハ合同研修会	濱田
	H28年8月	ジョブコーチ養成研修「障害特性と職業的課題」	山田
	H28年9月	あけぼの祭「高次脳機能障害とともに」	濱田・本多

	H28年9月	朝日文化事業団主催 「高次脳機能障害を生きる・共に生きる・家族の支え」	濱田
	H28年11月	第40回日本高次脳機能障害学会総会 エキスパートに聞く5 「高次脳機能障害の方の暮らしが見えていますか？—家族に学ぶ「問題」の読み解き方」	綿森淑子 本多留美 松田夫妻
	H28年12月	いでしたクリニック研修会「体験から学ぶ」	松田夫妻
	H29年1月	いでしたクリニック研修会「家族として支援者として」	濱田
	H29年2月	廿日市市高次脳機能障害研修会 「高次脳機能障害ってどんなこと」	本多 松田夫妻
	H29年3月	「高次脳機能障害とは」大島居宅介護支援事業所研修会	濱田
実習受け入れ		あけぼの職員1名【1週間】	
施設見学・研修会参加	H29年 3月4日	就労支援基礎セミナー（広島県就労振興センター主催） ～認知面の障害特性を理解して就労支援に活かす～	藤原
	H29年 3月11日 ～12日	JC-NET会議（NPO法人ジョブコーチネットワーク） 「就労支援の今」小川浩氏 「定着支援：自己肯定感や所属感を高める支援」 「改めて職場定着を考える～採用前から始まる定着に向けたプロセス～」 発達障害の就労移行支援プログラムを学ぶことで、高次脳機能障害の違いが理解でき、最近発達障害がありながらの高次脳機能障害者も見ることがあるために、とても勉強になった。	山田 守下 藤原
連携機関	月1回開催	広島障害者就労支援協議会 就労移行支援事業所ネットワーク会議に参加	山田
	2か月に1回	広島市自立支援協議会就労系事業所連絡会	山田
	毎月1回開催	廿日市自立支援協議会精神部会に毎月参加 呉障害児者支援連絡協議会に毎月参加	濱田 日山

平成28年度特定非営利活動にかかる事業会計 活動計算書

自平成28年4月1日 至29年3月31日

特定非営利活動法人高次脳機能障害サポートネットひろしま(単位:円)

科目・摘要	金額		
I 経常収益			
1.会費収益			
年会費	797,000	797,000	
2.財産運用収益			
受取利息	221	221	
3.事業収益			
就労支援事業収益	756,011		
障害福祉サービス事業収益	27,736,889		
体験料収益	33,000	28,525,900	
4.寄付金収益			
寄付金収益	401,278		
書籍寄付収益	60,005	461,283	
5.補助金・助成金収益			
広島市相談委託助成金収益	588,000	588,000	
6.その他収益			
雑収益	146,702	146,702	
経常収益合計			30,519,106
当期収益合計			30,519,106
II 経常費用			
1.事業費			
(1)人件費			
工賃	436,270		
給料手当・賞与	16,500,865		
法定福利費	2,186,286		
福利厚生費	53,313		
退職金掛金	135,000	19,311,734	
(2)その他の経費			
材料費	9,396		
外注加工費	99,100		
研修研究費	377,374		
啓発事業費	129,600		
会議費	123,696		
旅費交通費	497,550		
車両費	138,937		
通信運搬費	519,565		
生活訓練費	214,232		
消耗品費	411,364		
水道光熱費	338,521		
新聞図書費	77,255		
諸会費	60,000		
保険料	298,720		
支払報酬料	263,000		
印刷製本費	315,900		
行事参加費	12,200		
雑費	44,644	3,931,054	23,242,788
2.管理費			
(1)人件費			
給料手当・賞与	1,755,611		
法定福利費	234,850		
福利厚生費	93,960		
退職金掛金	15,000	2,099,421	
(2)その他の経費			
研修研究費	3,500		
地代家賃	3,221,472		
水道光熱費	37,614		
消耗品費	545,288		
通信運搬費	14,407		
旅費交通費	13,706		
リース料	329,940		
租税公課	1,200		
諸会費	42,000		
会議費	107,530		
支払手数料	16,078		
支払報酬料	490,320		
減価償却費	1,431,462		
雑費	904	6,255,421	8,354,842
経常費用計			31,597,630
当期費用合計			31,597,630
当期正味財産増加額			-1,078,524
前期繰越正味財産額			22,427,597
次期繰越正味財産額			21,349,073

(注)次期繰越正味財産額には、設備整備等積立金 1,890,175円を含む

計算書類の注記(平成28年度)

特定非営利活動法人高次脳機能障害サポートネットひろしま

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準によっている。

(1)固定資産の減価償却の方法

定額法

(2)消費税等の会計処理

税込処理

2. 事業費の状況(経常費用)は次のとおりである。

(単位:円)

	合計	就労支援	障害福祉	相談支援	家族会	啓発	本部(管理)
Ⅱ 支出の部							
就労支援事業費(材料費、工賃)	757,206	757,206					
障害福祉サービス事業費	17,298,822		17,298,822				
相談支援事業費	3,723,786			3,723,786			
家族会活動事業費	527,654				527,654		
啓発・広報活動事業費	935,320					935,320	
本部(管理費)	8,354,842						8,354,842
	31,597,630	757,206	17,298,822	3,723,786	527,654	935,320	8,354,842
(科目明細)							
就労支援 工賃	436,270	436,270					
就労支援 外注費	99,100	99,100					
就労支援 材料費	9,396	9,396					
給料手当・賞与	18,256,476		13,748,265	2,752,600			1,755,611
法定福利費	2,421,136		1,820,695	365,591			234,850
福利厚生費	147,273		41,113	12,200			93,960
退職金掛金	150,000		120,000	15,000			15,000
研修研究費	380,874		306,924		70,450		3,500
地代家賃	3,221,472						3,221,472
水道光熱費	376,135	75,227	263,294				37,614
消耗品費	956,652	36,839	186,036	100,233	38,668	49,588	545,288
車両費	138,937	57,154	47,086	24,697	10,000		
通信運搬費	533,972	43,220	171,327	204,531	78,304	22,183	14,407
旅費交通費	511,256		66,330	208,830	126,090	96,300	13,706
リース料	329,940						329,940
租税公課	1,200						1,200
保険料	298,720		298,720				
諸会費	102,000				60,000		42,000
会議費	231,226		14,800	4,104	15,298	89,494	107,530
支払手数料	16,078						16,078
支払報酬料	753,320			36,000	72,000	155,000	490,320
新聞図書費	77,255					77,255	
印刷製本費	315,900					315,900	
行事参加費	12,200				12,200		
生活訓練費	214,232		214,232				
啓発事業費	129,600					129,600	
雑費	45,548				44,644		904
減価償却費	1,431,462						1,431,462
当期経常費用合計	31,597,630	757,206	17,298,822	3,723,786	527,654	935,320	8,354,842

3. 固定資産の増減内訳は次のとおりである。

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物付属設備	7,948,395			7,948,395	4,900,443	3,047,952
車輛運搬具	2,420,000			2,420,000	2,176,663	243,337
什器備品	3,611,289	123,120		3,734,409	3,188,369	546,040
投資その他の資産						
敷金	1,491,426			1,491,426		1,491,426
預託金	12,540			12,540		12,540
施設整備積立預金	1,890,135	40		1,890,175		1,890,175
合計	17,373,785	123,160	0	17,496,945	10,265,475	7,231,470

平成28年度特定非営利活動にかかる事業会計 貸借対照表

平成29年3月31日現在

特定非営利活動法人高次脳機能障害サポートネットひろしま(単位:円)

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	10,666,258		
未収入金	4,827,659		
立替金	181,440		
流動資産合計		15,675,357	15,675,357
2 固定資産			
有形固定資産			
設備整備等積立預金	1,890,175		
建物附属設備	3,047,952		
車両運搬具	243,337		
什器備品	546,040	5,727,504	
無形固定資産			
敷金	1,491,426		
預託金	12,540	1,503,966	
固定資産合計			7,231,470
資産合計			22,906,827
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,459,874		
仮受金	48,200		
預り金	49,680		
流動負債合計		1,557,754	
負債合計			1,557,754
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産額		22,427,597	
当期正味財産増加額		-1,078,524	
次期繰越正味財産額		21,349,073	
正味財産合計			21,349,073
負債及び正味財産合計			22,906,827

(注1) 次期繰越正味財産額には設備整備等積立金 1,890,175円を含む

平成28年度特定非営利活動にかかる事業会計 財産目録

平成29年3月31日現在

特定非営利活動法人高次脳機能障害サポートネットひろしま(単位:円)

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	19,961	19,961	
普通預金			
①広島銀行五日市八幡支店	5,713,657		
②広島銀行五日市八幡支店	3,753,320		
③郵便局振替口座	701,801		
④郵便局通常貯金	477,519	10,646,297	
立替金			
研修会用冊子(全国事業所配布用)	181,440	181,440	
未収入金			
3月分利用者負担金	25,165		
2・3月分自立支援給付金	4,710,318		
3月分就労支援事業(受託事業)収入	83,456		
3月分自動販売機収入	8,720	4,827,659	
流動資産合計			15,675,357
2 固定資産			
有形固定資産			
建物附属設備			
改装工事(平成23年)	1,459,033		
ローパーテーション	1		
事務所内壁・作業所出入口工事	1,153,289		
作業所改修工事	435,629	3,047,952	
車両運搬具			
ダイハツ ラパン	14,003		
日産セレナ	229,334	243,337	
什器備品			
サクセスベル 検査道具 2セット	131,850		
ワークサンプル 2セット	246,022		
パソコン 6台	100,478		
椅子	1,881		
収納庫	18,886		
台下冷凍冷蔵庫	3		
電磁調理器	1		
コンベクションオーブン	1		
製氷機	1		
エアコン	46,917	546,040	
無形固定資産			
敷金	1,491,426		
預託金			
車両リサイクル預託金	12,540	1,503,966	
投資その他の資産			
設備整備等積立預金			
もみじ銀行緑井支店 普通預金	1,890,175	1,890,175	
固定資産合計			7,231,470
資産合計			22,906,827
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
3月分 給料手当	1,417,834		
3月分工賃	42,040	1,459,874	
仮受金			
更正訓練費 利用者3名給付分	48,200	48,200	
預り金			
源泉所得税	49,680	49,680	
流動負債合計			1,557,754
負債合計			1,557,754
正味財産合計			21,349,073

(注1)正味財産には設備整備等積立金1,890,175円を含む